

令和4年6月24日（金）

大阪府立池田高等学校 令和4年度 第1回 学校運営協議会

日時 令和4年6月24日（金）14：00～15：30

場所 大阪府立池田高等学校 図書室

出席者 協議会委員 5名  
教職員 4名

**議事**

- (1) 大阪府立池田高等学校 学校運営協議会実施要綱について(会長、副会長の選出を含む)
- (2) 令和4年度学校運営計画について
- (3) スクールミッション・スクールポリシーについて

- (1) 大阪府立池田高等学校 学校運営協議会実施要綱について  
本議案について、反対なしで承認された。

**(2) 令和4年度学校運営計画について**

別添2を参照。昨年度の内容と変更なし、今回は要点の確認のみ

- ・目指す学校像について、「自主・自律」の伝統を踏襲していく。細かな文言の変更はしてもよいと感じる。
- ・中期的目標について、
  - 1 「授業で勝負」の理念で「21世紀型学力」の育成に挑戦
  - 2 「志」の育成と生徒全員の進路保障実現
  - 3 総合的な「人間力」育成
  - 4 本校の安全安心基盤、広報体制充実これらを令和4年度の学校経営計画の骨組みとする。

本議案について、内容の確認を行った。

**(3) スクールミッション・スクールポリシーについて**

別添3、4を参照。令和3年度3月に「学校教育法施行規則」が改正され、各学校においてスクールミッション・スクールポリシーを策定することになった。

- ・スクールミッションとは、各高等学校に期待される社会的役割のこと。  
本年度中に学校での原案策定、教育委員会での決定が行われ、来年の夏に公開される。
- ・スクールポリシーとは、「学校教育法施行規則」に定める、以下の3つの方針のこと。

- 1 グラデュエーションポリシー
- 2 カリキュラムポリシー
- 3 アドミッションポリシー

こちらは令和5年度中に学校で原案を策定する。

以下をスクールミッションの一次案とする。

各界のリーダーを輩出してきた伝統を引き継ぎ、校訓「自主・自律」のもと、変化するグローバルな社会の中で、自ら考え、自らを律しながら、新しい価値観・産業・文化を創造できるリーダーを育成します。

- ・池高型「総合的な探求の時間」を中心に、主体的、対話的で深い学びのある授業を展開し、変化する社会を自分の視点でとらえなおし、論理的・批判的に物事を捉え、言葉や表情で様々な人とコミュニケーションできる能力を育成する。
- ・「授業で勝負」の方針のもと、ICTを駆使した「わかる喜びが散りばめられた授業」を展開し、知識・技能の定着に加え、思考力・判断力・表現力や「学び続ける力」を育成する。生徒が主体となる部活動・学校行事の伝統を継承し、主体性・問題解決能力・協働する力を育む。また、国際社会に貢献する人材育成のため、大学や海外の高校との交流を行う。

参加者からのご意見

- ・全体との整合性が取れていてよいと思う。「池高型」とは何か、具体的な言葉で共有できるとよいのではないか。(委員)
- ・「池高型」とは、3代前の校長が始めた、アクティブラーニングの推進のこと。先進校の授業を見学し、池田高校に合わせて改善してきた。(委員)
- ・中学では、地域と協働で、自分で考える力、基礎学力の定着を中心に考えている。池田高校といえば、リーダーの輩出だろうなという印象。(委員)
- ・呉羽会として、池高生には桜の落ち葉拾いを手伝ってもらっている。大変助かっているし、頼もしく感じる。(委員)
- ・落ち葉拾いに関して、地域の人は子供が思う以上に感謝している。素晴らしい活動をしているんだということを伝えてあげてほしい。  
スクールミッションについて、「リーダーを輩出」の部分に違和感がある。リーダーでなくとも大成している人もいる。それよりも個性を大切に、自分のやりたいことを見つけられるような方針の方がよいのではないか。(委員)
- ・私の会社では、有名大卒でも、変化に対応する柔軟性やリーダーとしての資質が足りないと感じる。保護者の立場としても、スクールミッションをこのように作ってもらえてありがたい。(委員)
- ・「リーダー」という言葉を定義する必要がある。このままでは多様な価値観の中で誤解を与えかねない。

高校の体育祭をみて、ダンスの振り付け等を自分たちで行っており、主体性とエネルギー

を感じた。すごいことをしている、ということを生徒に感じさせたい。(委員)

・池田高校でも、本年度の体育祭では応援ダンスを再開させることができた。このまま軌道に乗せていければと思う。(校長)

・アフターコロナのケアには大人のサポートが必要だろう。(委員)

**いただいた意見をもとに、校長が再度検討**

## その他

・最近では普通科を選ぶ生徒が多く、園芸や工業などの実業高校が苦戦している。今の時代、夢と希望をどのように伝えるのか。(委員)

・教員として夢や希望を語ることは大切。(委員)

・教授の目がキラキラしている研究室は、学生も元気。(委員)

・中学校では、職業体験ができなくなった代わりに、ボクサーや落語家など様々なジャンルの人と接する機会を多く設定している。(委員)

・最近の子は幼く、目標もはっきりしない印象を受ける。具体的な夢、すべきこと、今できることが分かると、生徒の目がキラキラしていく。(委員)

以上